

募集 Recruit 空き店舗バンクツアー

☎まちづくり推進課（表郷庁舎内）内2744

「空き店舗バンク」に登録されている物件を紹介するツアーを定期的に開催しています。今回は、実際に創業した店舗への訪問なども予定しています（ツアーは1時間30分程度）。中心市街地の空き店舗に関心のある方は、ぜひご参加ください。

- 日 2月5日(金)
- 集合時間 午後1時30分
- 集合場所 本庁舎正面入り口
- 定員 15人 ※先着順
- 申込先 まちづくり推進課（表郷庁舎内）



《空き店舗バンクとは》

空き店舗バンクは、空き店舗を売りたい・貸したい所有者と、買いたい・借りたい利用者をマッチングする制度です。

現在、中心市街地内の物件が数多く登録されています。詳しくは、市ホームページをご覧ください。



募集 Recruit リノベーションまちづくりセミナー

☎まちづくり推進課（表郷庁舎内）内2743

今まちづくりは「ないものねだり」から「あるものみつけ」の時代へ。活用を待っているのは空き家・空き店舗ばかりではありません。人・歴史・自然・文化、かけがえのない地域の宝物を再編集し、市民の力で街の活力をつくり出す。それが「リノベーションまちづくり」です。詳しくは、ホームページをご覧ください。

- 日 1月12日(火)午後6時～8時
- 会場 マイタウン白河（本町）
- テーマ 「つくる時代からつかいこなす時代へ」
- 講師 (株)ブルースタジオ 犬島 芳彦氏
- 参加費 無料 ※交流会(希望者のみ)は有料です。
- 定員 先着50人 ※限定で動画を配信します。
- 申込先 まちづくり推進課（表郷庁舎内）



募集 Recruit 市公共施設個別施設計画パブリックコメント

☎本庁舎財政課 内2336

市では、公共施設の全体の状況を把握し、長期的な視点をもって、長寿命化・統合・廃止などを計画的に行い、公共施設の適正配置や、財政負担の軽減・平準化を図るため「白河市公共施設個別施設計画」の策定を予定しています。



つきましては、パブリックコメントを実施し、市民の皆さんから意見を募集しています。詳しくは、お問い合わせいただくか、市ホームページをご覧ください。

- 募集期限 1月15日(金)
- 募集対象 市公共施設個別施設計画 原案
- 閲覧方法

- ①市ホームページからダウンロード
- ②本庁舎財政課、各庁舎地域振興課窓口で閲覧
- ※午前8時30分～午後5時15分（土・日・祝日を除く）

募集 Recruit 地域づくり活性化支援事業を補助します

☎本庁舎生活防災課 内2134

市では、地域活力の向上を目的に「地域の特性を活かした市民の自発的な取り組みで、独自性のある事業」に対して、経費の一部を補助しています。

- 補助率 経費の3分の2以内
- 補助額 50万円以内
- 申込期間 1月4日(月)～3月1日(月)
- ※対象事業など詳しくは、市ホームページをご覧ください。



《事例紹介》

古くから五箇地域の文化として受け継がれた『五箇音頭』の音源が劣化したため、リニューアルし、伝統ある歌と踊りを地域の宝として次の世代に引き継ぐとともに、魅力ある文化をPRすることで地域の活性化を図る事業です。

イベント Event 渋沢栄一講演会

☎南湖公園魅力発信事業実行委員会（本庁舎観光課内）内2214

（公財）渋沢栄一記念財団渋沢史料館の副館長を招き、大河ドラマの主人公・渋沢栄一翁はなぜ松平定信公を敬愛したのか、南湖神社創建において渋沢翁はどのように関わったのかなどの講演会を開催します。

- 日 2月14日(日)
- 時間 受付 午後1時から
講演 午後2時～3時30分
- 会場 コミネス小ホール
- 演題 「渋沢栄一の松平定信へのまなざし」
- 講師 渋沢史料館 副館長 桑原 功一氏
- 入場料 無料
- 定員 県内在住の方 100人
- ※事前に申し込みが必要です（先着順）。
- 申込方法 1月5日(火)以降、本庁舎観光課へお電話にてお申し込みください。

イベント Event 第26回中山義秀文学賞贈呈式・受賞記念講演会

☎中山義秀顕彰会（中山義秀記念文学館内）☎403614

第26回中山義秀文学賞が木下昌輝さんの『まむし三代記』に決定し、贈呈式と記念講演会を開催します。皆様のご来場をお待ちしています。

- 日 2月7日(日)午後1時30分から
- 会場 新白信ビルイベントホール（立石）
- 内容 贈呈式 賞金100万円・大信産コシヒカリ1俵などを贈呈
記念講演 「天下人を育てた斎藤道三の一生」
- サイン会
- 入場料 無料
- 定員 120人
- ※事前に電話・FAX（☎3702）・窓口のいずれかの方法で申し込みが必要です。
- ※新型コロナウイルス感染症の拡大により、中止となる場合があります。

《桑原功一さんの紹介》

明治大学大学院文学研究科史学専攻（日本史学）博士前期課程修了。足立区立郷土博物館専門員、呉市海事歴史科学館（大和ミュージアム）学芸員を経て、2008年から渋沢史料館学芸員。現在、同史料館副館長・学芸員。

著作に『渋沢栄一 日本近代の扉を開いた財界リーダー』（宮本又郎編・共著／2016年）



▲南湖神社の松平定信像

《『渋沢栄一×松平定信 南湖を彩る系譜』連載開始！》

南湖公園魅力発信事業実行委員会では、近代日本経済の父・渋沢栄一翁と白河藩主・松平定信公との知られざる関係をひも解くコーナーを、今月号から全12回にわたって連載します。詳しくは、15ページをご覧ください。

《木下昌輝さんの紹介》

1974年奈良県生まれ。

《受賞歴》

- 第92回オール読物新人賞 『宇喜多の捨て嫁』（2012年）
- ※第152回直木賞候補作
- ※第9回舟橋聖一文学賞
- 第7回大阪ほんま本大賞 『天下一の軽口男』（2019年）
- 第7回野村胡堂文学賞 『絵金、闇を塗る』（2019年）



©saori.hayakawa



《受賞作の紹介『まむし三代記』》

応仁の乱から34年後の文亀2年、日蓮宗の坊主・法蓮房は、国盗りの野望を秘めて美濃を目指す。2代目新九郎はついに美濃国を奪取し、斎藤道三を名乗る。親子2代にわたる国盗りの大なる武器となった「国滅ぼし」とは何か？真実にたどり着いた3代目義龍の決断とは？